

事業群評価調書(令和2年度実施)

基本戦略名	1 交流を生み出し活力を取り込む	事業群主管所属	企画部IR推進課
施策名	(3) 海外活力の取り込み	課(室)長名	小宮 健志
事業群名	⑤ 統合型リゾート(IR)の導入	事業群関係課(室)	

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文)							(取組項目)			
カジノを含む統合型リゾート(IR)の本県誘致を目指し、国際競争力の高い魅力ある基本構想を策定するとともに、国への働きかけのほか、地域別説明会の実施や、関係自治体・経済界等との県民組織の立ち上げなど、機運の醸成並びに県民の合意形成に取り組みます。また、長崎地域の特定複合観光区域の認定に向けた取組及びIR事業者との調整等を進め、誘致後には以下の事項を実現して、県勢の発展及び地方創生へつなげます。							i) 実施方針策定 ii) 広域連携・機運醸成 iii) 県民理解促進			
事業群	指標		基準年	H28	H29	H30	R元	R2	最終目標(年度)	(進捗状況の分析) 平成30年7月、特定複合観光施設区域整備法(IR整備法)が公布。令和元年9月にはIR整備に向けた国の基本方針案が公表され、区域認定は令和3年度以降となる見通しである。こうした状況を踏まえ、令和元年度は、国の基本方針案に基づき、本県IRのあるべき姿を示す基本構想やIR事業者の公募・選定に係る実施方針の策定に取り組むとともに、九州の合意形成に向けた九州各県・経済団体等への働きかけや国への要望活動、県民の理解促進に向けた広報活動等を行った。
	国による特定複合観光施設(IR)区域の認定		目標値①	—	—	—	—	認定	認定(R2)	
			実績値②	—	—	—	—	—	進捗状況	
		達成率②/①	—	—	—	—	—	—	—	

2. 令和元年度取組実績(令和2年度新規・補正は参考記載)

事業番号	取組項目	事務事業名	事業期間	事業費(単位:千円)			事業対象	事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和元年度事業の成果等	中核事業
				H30実績	うち一般財源	人件費(参考)			主な指標	H30目標	H30実績		
1	取組項目 i ii iii	特定複合観光施設導入推進事業費	H26-	102,115	88,878	47,832	長崎県・佐世保市IR推進協議会	本県へのIR導入に向け、本県IRのあるべき姿を示す基本構想やIR事業者の公募・選定に係る実施方針の検討、九州の広域連携に向けた働きかけや各種要望活動、県民の理解促進に向けた広報活動等を担う長崎県・佐世保市IR推進協議会の活動費を負担した。	関係機関との会議(佐世保市・九州の経済団体等)開催回数(回)	16	70	437%	●事業の成果 ①令和元年9月に公表された国の基本方針案を踏まえ、令和2年4月に本県IRのあるべき姿を示す基本構想及びIR事業者の公募・選定に係る実施方針案を公表した。 ②令和元年10月から令和2年2月にかけて、IR事業者の公募・選定に向けたコンセプト募集(RFC)を実施し、国内外から複数の事業者が参加した。 ③令和元年6月、九州地方知事会議、九州地域戦略会議において、本県IRを九州第一弾として応援することが決議された。併せて、九州地域戦略会議の下に九州各県、経済団体の実務者によるプロジェクトチームが設置された。 ④令和元年度に県内8ヶ所で開催した県民説明会の参加者アンケートでは、98%が「IRとは何か理解できた」「概ね理解できた」と回答した。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与・上記の成果により、目標であるIR区域認定の獲得に向けた事業者の公募・選定に係る準備を加速することができた。
				117,233	111,210	79,540			H30:実施方針の策定	着手	着手	—	
					R元:実施方針の策定	策定	案策定	—					
		IR推進課		166,539	157,674	79,750	根拠法令	特定複合観光施設区域整備法	R元:事業者の公募・選定に向けたコンセプト募集	1	1	100%	
									R2:事業者の公募・選定	1			

### 3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

<p>i 実施方針策定</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 令和元年度は、9月に公表された国の基本方針案を踏まえ、本県IRのあるべき姿を示す基本構想やIR事業者の公募・選定に係る実施方針の検討を行い、令和2年4月に基本構想及び実施方針案を公表した。国の基本方針が決定・公表されていないため、実施方針が策定できていない。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 令和2年度は、国の基本方針の決定・公表後、速やかに実施方針の策定・公表を行う。また、国の動向や社会情勢等を見極めながら、事業者の公募・選定を開始するとともに、区域整備計画の作成を前倒しするなど、IR区域認定申請に向けた準備を加速させていく。</p>
<p>ii 広域連携・機運醸成</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 令和元年度は、6月の九州地方知事会議及び九州地域戦略会議において、本県IRを九州第一弾として応援することが決議された。併せて、九州地域戦略会議の下に、九州・沖縄・山口各県及び経済団体の実務者による九州IR推進プロジェクトチームが設置され、IRを活かした九州経済の活性化や広域連携のあり方等について検討が進められた。九州IR推進プロジェクトチームは現在も活動中であり、九州地域戦略会議への最終報告に至っていない。また、九州経済界のさらなる機運醸成も必要である。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 令和2年度も九州IR推進プロジェクトチームの活動を継続し、IRを活かした九州経済の活性化や広域連携のあり方等について引き続き検討を行う。また、九州地方知事会議において、国に対し九州・長崎IRの区域認定を求める決議を行い、関係省庁等に要望活動を行うなど、九州の広域連携を強化させていく。</p>
<p>iii 県民理解促進</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 ・令和元年度は、県内8箇所で開催を行ったほか、大学の授業や経済団体の会合等を活用した三役、担当職員による講演、県広報誌への掲載、スーパー、コンビニへのポスター・パンフレットの設置等の広報活動を行った。なお、説明会参加者へのアンケートでは、98%が「IRとは何か理解できた」「概ね理解できた」と回答した。 ・現状ではまだ事業者が決定しておらず、本県IRの具体的な姿を説明できていない。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 令和2年度は、事業者を選定し、区域整備計画を作成する時期であり、本県IRの施設規模や機能も具体化することから、様々な機会を通し、きめ細かな広報活動を行い、県民理解のさらなる促進につなげる。</p>

### 4. 令和2年度見直し内容及び令和3年度実施に向けた方向性

事業番号	取組項目	事務事業名 所管課(室)名	令和2年度事業の実施にあたり見直した内容 (令和2年度の新たな取組は「R2新規」等と記載、見直しが無い場合は「－」と記載)	令和3年度事業の実施に向けた方向性		
				事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
1	取組項目 i ii iii	特定複合観光施設導入推進事業費  IR推進課	本事業は令和2年度の区域認定の獲得を目標に掲げていたが、国のスケジュールが想定より遅れていることにより、区域認定は令和3年度以降となる見通しである。こうした状況を踏まえ、令和2年度は、国の基本方針の決定・公表後、速やかに実施方針を策定・公表する。また、事業者の公募・選定を行うとともに、区域整備計画の作成作業を前倒しするなど、IR区域認定申請に向けた準備を加速させていく。	⑨	令和3年度は、区域整備計画の認定申請期間に間に合うよう着実に準備を進めるとともに、交通インフラの整備・検討をはじめ、MICE誘致支援組織や人材育成コンソーシアム、懸念事項対策ネットワークの組成に向けた取組等を実施していく。	拡充

注:「2. 令和元年度取組実績」に記載している事業のうち、令和元年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

#### 【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点